

○歯科麻酔学：627-4-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7

年次	学期	学則科目責任者
4年次	後学期	平塚 浩一（生化学・分子生物学）

学修目標 (G I O) と 単位数	<p>・単位数：2単位。</p> <p>・学修目標 (G I O)：安全で安心な歯科診療を行うために、全身管理法、局所麻酔法、精神鎮静法、全身麻酔法、歯科でのペインクリニックについて学修する。</p>
担当教員	<p>*卯田 昭夫、*下坂 典立、*鈴木 正敏、*竹森 真実、*辻 理子、*吉崎 里香、*佐々木 貴大、*古賀 悠太、戸邊 玖美子、福田 えり、※岡 俊一、*渋谷 鑛、*石橋 肇、*山口 秀紀、秋山 正利、※西連寺 央康、※金子 守男、*佐藤 俊秀、*岡部 靖子、※大橋 一之、藤田 裕、※吉村 宅弘、※橋本 崇文、※草間 弘朝、*峯村 麻由、※別部 智司、※田中 晃伸</p>
教科書	<p>歯科麻酔・生体管理学 編集 吉田和市、執筆 飯島毅彦、今村佳樹、岡 俊一 他 学建書院</p>
評価方法 (E V)	<p>後学期期間内に2回行う平常試験 (75%)、計4日 (計8コマ) の実習および実習試験 (20%)、受講態度 (5%) をもって総合評価 (最終評価) する。</p> <p>ただし、平常試験の結果に応じて再試験等の措置を講じることがある。実習試験の再試験は行わない。受講態度は出席することが前提として与える。</p> <p>授業および実習それぞれに対して4/5を超えた出席を必要とする。かりに授業または実習を1/5以上欠席した者は、授業の平常試験または実習 (実技) 試験のそれぞれの再試験受験資格を喪失する。実習を欠席した場合、追実習は行わない。実習は全日程の出席が原則である。実習日は、それぞれ3限の13時10分開始から実習の最後まで参加をもってその日の出席とする。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>歯科治療は不安や緊張など様々な偶発症や医科的疾患の増悪を惹起することがあります。不安や緊張を緩和する方法、偶発症発症時の対応、また、全身麻酔法、ペインクリニックなどより臨床に近い内容です。しかし、生理学、薬理学、解剖学等の知識が必須です。必ず復習をして受講してください。欠席回数数の計算は学生の自己責任であり、期日を過ぎての欠席届け、年度末の欠席に関する相談は受けつけないことに注意すること。</p> <p>*10月14日、10月21日、10月28日、11月4日は実習日で、それぞれ3限の13時10分開始から実習の最後まで参加をもってその日の出席とする。実習を1日以上欠席すると再実習試験の受験資格を喪失することから、追実習も行わない。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/09 (水) 3時限 13:10~14:40	麻酔 (科) 学概論	<p>【授業の一般目標】 麻酔学の理解を深めるために、麻酔の歴史の概略と歯科麻酔学の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 麻酔学の重要性と今日の歯科麻酔が担うべき役割を述べるができる。 3. 麻酔学の発達と歴史上の史実・変遷について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P.11~P66を熟読すること ・事前学修時間：:20分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 b 全身状態の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。</p>	<p>*下坂 典立 *卯田 昭夫 *石橋 肇</p>
2026/09/09 (水) 4時限 14:50~16:20	全身管理の基本 ・全身管理に必要な生理学	<p>【授業の一般目標】 麻酔学を理解するために、全身管理に必要な解剖学、生理学及び生化学の項目について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 呼吸の基礎知識について説明できる。 3. 循環の基礎知識について説明できる。 4. 神経の基礎知識について説明できる。</p>	<p>*卯田 昭夫</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/09 (水) 4時限 14:50～16:20	全身管理の基本 ・全身管理に必要な生理学	5. 代謝・内分泌の基礎知識について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P. 11～P. 66を熟読すること。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室、第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 b 全身状態の評価 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (1) 全身管理 ②血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。 ③体温の測定方法を説明できる。 ④意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。	*卯田 昭夫
2026/09/16 (水) 3時限 13:10～14:40	全身管理の基本 ・管理上問題となる疾患	【授業の一般目標】 歯科治療を安全に行うために、全身管理上問題となる疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 呼吸器疾患について説明できる。 3. 循環器系疾患について説明できる。 4. 脳・神経疾患について説明できる。 5. 代謝・内分泌系疾患について説明できる。 6. 肝疾患について説明できる。 7. 腎疾患について説明できる。 8. 妊婦について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P. 11～P. 68を熟読すること。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室、第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 b 全身状態の評価 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (1) 全身管理 ⑥患者（小児、妊産婦、高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。	*下坂 典立 *卯田 昭夫
2026/09/16 (水) 4時限 14:50～16:20	全身管理の基本 ・管理上問題となる疾患	【授業の一般目標】 歯科治療を安全に行うために、全身管理上問題となる疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 呼吸器疾患について説明できる。 3. 循環器系疾患について説明できる。 4. 脳・神経疾患について説明できる。 5. 代謝・内分泌系疾患について説明できる。 6. 肝疾患について説明できる。 7. 腎疾患について説明できる。 8. 妊婦について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P. 11～P. 68を熟読すること。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし	*下坂 典立 *卯田 昭夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/16 (水) 4時限 14:50～16:20	全身管理の基本 ・管理上問題となる疾患	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 b 全身状態の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (1) 全身管理 ⑥患者 (小児、妊産婦、高齢者を含む) の全身状態の評価を説明できる。</p>	*下坂 典立 *卯田 昭夫
2026/09/30 (水) 3時限 13:10～14:40	局所麻酔法	<p>【授業の一般目標】 安全に局所麻酔を施行するために、局所麻酔の歴史と局所麻酔薬の基礎的事項を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 局所麻酔の歴史を述べるができる。 3. 局所麻酔薬に関する神経生理学と薬剤の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P. 69～P. 94を熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 a 局所麻酔</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (3) 局所麻酔法 ①局所麻酔の特徴と目的及び種類を説明できる。 ②局所麻酔薬の分類と、その作用機序を説明できる。 ③局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。</p>	*下坂 典立 *卯田 昭夫
2026/09/30 (水) 4時限 14:50～16:20	局所麻酔法	<p>【授業の一般目標】 安全に局所麻酔を施行するために、歯科用局所麻酔薬の特徴と血管収縮薬について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科用局所麻酔薬の特徴と使用上の注意点について説明できる。 3. 血管収縮薬の薬理について説明できる。 4. 局所麻酔の偶発症について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P. 69～P. 94を熟読すること。 ・事前学修時間：50分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 a 局所麻酔</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本</p>	*下坂 典立 *卯田 昭夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/30 (水) 4時限 14:50～16:20	局所麻酔法	E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (3) 局所麻酔法 ④血管収縮薬の使用目的と種類、特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。 ⑤局所麻酔の実施法と合併症（偶発症）を説明できる。	*下坂 典立 *卯田 昭夫
2026/10/07 (水) 3時限 13:10～14:40	精神鎮静法	【授業の一般目標】 歯科治療中の患者管理を安全に行うために、精神鎮静法について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 精神鎮静法の適応症、選択及び管理方法について列挙できる。 3. 静脈内鎮静法及び吸入鎮静法の適応と使用薬剤及び管理方法を具体的に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P. 205～P. 220を熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室、第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 c 精神鎮静法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (2) 精神鎮静法 ①精神鎮静法の特徴と目的及び種類を説明できる。 ②吸入鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症を説明できる。 ③静脈内鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症を説明できる。 ④精神鎮静法の周術期の管理を説明できる。	*下坂 典立 *卯田 昭夫
2026/10/07 (水) 4時限 14:50～16:20	精神鎮静法	【授業の一般目標】 歯科治療中の患者管理を安全に行うために、精神鎮静法の実際について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 精神鎮静法の実際について述べるができる。 3. 精神鎮静法後の帰宅許可の基準について述べるができる。 4. 精神鎮静法後の患者への注意事項を述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P. 205～P. 220を熟読すること。 ・事前学修時間：10分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室、第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 c 精神鎮静法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (2) 精神鎮静法 ④精神鎮静法の周術期の管理を説明できる。	*下坂 典立 *卯田 昭夫
2026/10/14 (水) 3時限 13:10～14:40	患者管理の実際 (その1) バイタルサイン測定の実際 ・10月14日から11月4日の患者管理の実際その1～4) は4班に分けて	【授業の一般目標】 歯科治療を安全に行うために、バイタルサインについて理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科外来の一般的医療面接項目を列挙できる。 3. 合併症を有する患者の対診時の実際について説明できる。 4. バイタルサインについて説明できる。	*卯田 昭夫 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *竹森 真実 *辻 理子 *吉崎 里香 *佐々木 貴大 *古賀 悠太

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/14 (水) 3時限 13:10~14:40	ループごとにローテーションで行う。	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P11~P.14及び配付資料を熟読すること。 ・事前学修時間：15分 ・事後学修項目：バイタルサインの測定法を再確認する。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有：実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 e モニタリング</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (1) 全身管理 ①バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。 ②血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。 ③体温の測定方法を説明できる。 ④意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。</p>	戸邊 玖美子 福田 えり * 渋谷 鑠 * 石橋 肇 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 * 岡部 靖子 * 佐藤 俊秀
2026/10/14 (水) 4時限 14:50~16:20	患者管理の実際 (その1) バイタルサイン測定の実際	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科治療を安全に行うために、バイタルサインを理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. バイタルサインの的確な把握とその実際を行うことができる。 3. 意識レベルの評価ができる。 4. 呼吸状態の把握ができる。 5. 血圧測定を行うことができる。緊急時の測定ができる。 6. 脈拍測定を行うことができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P.11~P14及び配付資料を熟読すること。 ・事前学修時間：15分 ・事後学修項目：バイタルサインの測定法を再確認する。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有：実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 e モニタリング</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (1) 全身管理 ①バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。 ②血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。 ③体温の測定方法を説明できる。 ④意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。</p>	* 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 竹森 真実 * 辻 理子 * 吉崎 里香 * 佐々木 貴大 * 古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり * 渋谷 鑠 * 石橋 肇 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 * 佐藤 俊秀 * 岡部 靖子 金子 守男
2026/10/21 (水) 3時限 13:10~14:40	患者管理の実際 (その2) モニタリングの実際	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科治療を安全に行うために、モニタリングについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科外来の一般的医療面接項目を列挙できる。 3. 合併症を有する患者の対診時の実際について説明できる。 4. モニタリングについて説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P11~P.14及び配付資料を熟読すること。 ・事前学修時間：15分 ・事後学修項目：バイタルサインの測定法を再確認する。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有：実習</p>	* 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 竹森 真実 * 辻 理子 * 吉崎 里香 * 佐々木 貴大 * 古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり * 渋谷 鑠 * 石橋 肇 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/21 (水) 3時限 13:10~14:40	患者管理の実際 (その2) モニタリングの実際	<p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 e モニタリング</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (1) 全身管理 ①バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。 ②血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。 ③体温の測定方法を説明できる。</p>	藤田 裕 *岡部 靖子 *佐藤 俊秀
2026/10/21 (水) 4時限 14:50~16:20	患者管理の実際 (その2) モニタリングの実際	<p>【授業の一般目標】 歯科治療を安全に行うために、モニタリングを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. モニタを応用したバイタルサインの的確な把握と評価ができる。 3. モニタ心電図の測定を行うことができる。 4. 血糖測定を行い数値の解釈ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P11~P.14及び配付資料を熟読すること。 ・事前学修時間：15分 ・事後学修項目：バイタルサインの測定法を再確認する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 e モニタリング</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (1) 全身管理 ①バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。 ②血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。 ③体温の測定方法を説明できる。 ④意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。</p>	*卯田 昭夫 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *竹森 真実 *辻 理子 *吉崎 里香 *佐々木 貴大 *古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり *渋谷 鏡 *石橋 肇 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 *岡部 靖子 *佐藤 俊秀
2026/10/28 (水) 3時限 13:10~14:40	患者管理の実際 (その3) 救急処置 (1)	<p>【授業の一般目標】 歯科治療中の患者急変に対応するために、心肺蘇生法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 気道閉塞及び気道確保について説明できる。 3. 胸骨圧迫について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P237~P.258及び配付資料を熟読すること。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：配付資料を再読する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 3 救急医療 ア 一次救命処置 a 心肺蘇生</p>	*卯田 昭夫 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *竹森 真実 *辻 理子 *吉崎 里香 *佐々木 貴大 *古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり *渋谷 鏡 *石橋 肇 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 *岡部 靖子 *佐藤 俊秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/28 (水) 3時限 13:10~14:40	患者管理の実際 (その3) 救急処置 (1)	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-6) 救急処置 ②一次救命処置(basic life support <BLS>)を説明できる。</p>	<p>* 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 竹森 真実 * 辻 理子 * 吉崎 里香 * 佐々木 貴大 * 古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり * 洪谷 鑛 * 石橋 肇 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 * 岡部 靖子 * 佐藤 俊秀</p>
2026/10/28 (水) 4時限 14:50~16:20	患者管理の実際 (その3) 救急処置 (1)	<p>【授業の一般目標】 歯科治療中の患者急変に対応するために、心肺蘇生法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 意識、呼吸及び脈拍の状態を把握できる。 3. 気道閉塞の解除及び気道確保を行える。 4. 呼吸吹き込み式人工呼吸を行える。 5. 胸骨圧迫を行える。 6. AEDを使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P237～P.258及び配付資料を熟読すること。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：配付資料を再読する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 3 救急医療 ア 一次救命処置 a 心肺蘇生</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-6) 救急処置 ②一次救命処置(basic life support <BLS>)を説明できる。</p>	<p>* 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 竹森 真実 * 辻 理子 * 吉崎 里香 * 佐々木 貴大 * 古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり * 洪谷 鑛 * 石橋 肇 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 * 岡部 靖子 * 佐藤 俊秀</p>
2026/11/04 (水) 3時限 13:10~14:40	患者管理の実際 (その4) 救急処置 (2)	<p>【授業の一般目標】 歯科治療中の患者急変に対応するために、心肺蘇生法を行える。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 安全にAEDを使用できる。 3. 心肺蘇生法を手順通り行える。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P237～P.258及び配付資料を熟読すること。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：配付資料を再読する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 3 救急医療 ア 一次救命処置 b AEDの使用</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-6) 救急処置</p>	<p>* 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 竹森 真実 * 辻 理子 * 吉崎 里香 * 佐々木 貴大 * 古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり * 洪谷 鑛 * 石橋 肇 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 * 岡部 靖子 * 佐藤 俊秀</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/04 (水) 3時限 13:10~14:40	患者管理の実際 (その4) 救急処置 (2)	②一次救命処置(basic life support <BLS>)を説明できる。	* 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 竹森 真実 * 辻 理子 * 吉崎 里香 * 佐々木 貴大 * 古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり * 洪谷 鑛 * 石橋 肇 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 * 岡部 靖子 * 佐藤 俊秀
2026/11/04 (水) 4時限 14:50~16:20	患者管理の実際 (その4) 救急処置 (2)	<p>【授業の一般目標】 歯科治療中の患者急変に対応するために、救急蘇生法を行える。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 傷病者発見から短時間で心肺蘇生法を開始できる。 3. 心肺蘇生法の手順をスムーズに実施できる。 4. AEDを安全に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 教科書「歯科麻酔・生体管理学」P237~P. 258及び配付資料を熟読すること。 ・事前学修時間: 60分 ・事後学修項目: 配付資料を再読する。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 3 救急医療 ア 一次救命処置 b AEDの使用</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-6) 救急処置 ②一次救命処置(basic life support <BLS>)を説明できる。</p>	* 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 竹森 真実 * 辻 理子 * 吉崎 里香 * 佐々木 貴大 * 古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり * 洪谷 鑛 * 石橋 肇 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 * 岡部 靖子 * 佐藤 俊秀
2026/11/11 (水) 3時限 13:10~14:40	平常試験 1	<p>【授業の一般目標】 9月9日~10月7日の授業内容の知識を問う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. これまでの授業内容について述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: これまでの授業内容を復習する。 ・事前学修時間: 3時間 ・事後学修事項: 試験の解答を作成する。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 d 術前・術中・術後管理</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	* 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 竹森 真実 * 辻 理子 * 吉崎 里香 * 佐々木 貴大 * 古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり * 洪谷 鑛 * 石橋 肇 * 山口 秀紀 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 * 岡部 靖子 * 佐藤 俊秀
2026/11/11 (水) 4時限 14:50~16:20	平常試験 1 の解説 講義	<p>【授業の一般目標】 これまでの授業内容を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p>	* 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 竹森 真実 * 辻 理子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/11 (水) 4時限 14:50～16:20	平常試験1の解説 講義	2. これまでの授業内容について述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでの授業内容を復習する。 ・事前学修時間：3時間 ・事後学修事項：試験の解答を作成する。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 その他 【場所（教室/実習室）】 202教室、第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 d 術前・術中・術後管理 【コアカリキュラム】	* 吉崎 里香 * 佐々木 貴大 * 古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり * 渋谷 鑛 * 石橋 肇 * 山口 秀紀 秋山 正利 大橋 一之 草間 弘朝 西連寺 央康 橋本 崇文 吉村 宅弘 藤田 裕 * 岡部 靖子 * 佐藤 俊秀
2026/11/18 (水) 3時限 13:10～14:40	全身麻酔法 ・全身麻酔の概念 と方法 ・術前管理	【授業の一般目標】 安全に患者管理を行うために、全身麻酔法について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身麻酔法の適応と術前評価について説明できる。 3. 前投薬の使用法と薬理学的作用を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P117～P203を熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室、第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (4) 全身麻酔法 ①全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。 ②全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。 ③全身麻酔の適応と禁忌、合併症及び周術期の管理を説明できる。	* 下坂 典立 * 卯田 昭夫
2026/11/18 (水) 4時限 14:50～16:20	全身麻酔法 ・吸入麻酔薬 ・静脈麻酔薬	【授業の一般目標】 安全に患者管理を行うために、全身麻酔法の種類を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 吸入麻酔薬及び静脈麻酔薬の薬理学的性質について説明できる。 3. 吸入麻酔薬及び静脈麻酔薬の導入、維持及び覚醒について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P117～P203を熟読すること。 ・事前学修時間：40分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室、第3実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔	* 下坂 典立 * 卯田 昭夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/18 (水) 4時限 14:50～16:20	全身麻酔法 ・吸入麻酔薬 ・静脈麻酔薬	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (4) 全身麻酔法 ①全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。 ②全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。 ③全身麻酔の適応と禁忌、合併症及び周術期の管理を説明できる。	*下坂 典立 *卯田 昭夫
2026/11/25 (水) 3時限 13:10～14:40	全身麻酔法 ・筋弛緩薬 ・気道管理 ・麻酔装置と麻酔法 ・術中管理	【授業の一般目標】 安全に患者管理を行うために、全身麻酔を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 筋弛緩薬の生理・薬理学的機序を説明できる。 3. 全身麻酔中の気道確保の意義と方法について説明できる。 4. 全身麻酔法に必要な器具・器材について説明できる。 5. 全身麻酔中の呼吸、循環及び代謝管理の方法と生理学的問題点について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P117～P203を熟読すること。 ・事前学修時間：40分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (4) 全身麻酔法 ①全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。 ②全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。 ③全身麻酔の適応と禁忌、合併症及び周術期の管理を説明できる。	*下坂 典立 *卯田 昭夫
2026/11/25 (水) 4時限 14:50～16:20	全身麻酔法 ・術後管理 ・麻酔合併症	【授業の一般目標】 安全に患者管理を行うために、全身麻酔法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 術後管理の意義と目的を述べることができる。 3. 全身麻酔中の循環変動の要因について述べるができる。 4. 全身麻酔の合併症について述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P117～P203を熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第3実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (4) 全身麻酔法 ①全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。 ②全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。 ③全身麻酔の適応と禁忌、合併症及び周術期の管理を説明できる。	*鈴木 正敏 *下坂 典立 *卯田 昭夫
2026/12/02 (水)	高齢者の麻酔管理	【授業の一般目標】	岡 俊一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:10～14:40	訪問歯科診療における患者管理	<p>安全に患者管理を行うために、高齢者の麻酔管理と訪問歯科診療における患者管理を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 高齢者の麻酔管理の特徴について説明できる。 3. 高齢者歯科患者の全身リスク評価について説明できる。 4. 訪問歯科診療における患者管理の特徴について説明できる。 5. 訪問歯科診療における感じリスク評価について述べるができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P6. P189～194、P199～P204を熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論V 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 2 治療の基礎 ウ ライフステージ別の治療 c 高齢者の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (1) 全身管理 ③体温の測定方法を説明できる。 ④意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。 ⑤患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。 ⑥患者（小児、妊産婦、高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。</p>	<p>*卯田 昭夫 *下坂 典立</p>
2026/12/02（水） 4時限 14:50～16:20	小児の麻酔管理 障害者の麻酔管理	<p>【授業の一般目標】</p> <p>安全に患者管理を行うために、小児と障害者の麻酔管理法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の全身麻酔管理の特徴について説明できる。 3. 障害者の麻酔管理の特徴について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P6. P182～188、P195～P198を熟読すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論V 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 2 治療の基礎 ウ ライフステージ別の治療 a 小児の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論V 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 2 治療の基礎 オ 障害者の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (4) 全身麻酔法 ①全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。 ②全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。 ③全身麻酔の適応と禁忌、合併症及び周術期の管理を説明できる。</p>	<p>*竹森 真実 *辻 理子 田中 晃伸</p>
2026/12/09（水） 3時限 13:10～14:40	歯科治療時の全身的偶発症	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科治療を安全に行うために、歯科治療時の全身的偶発症を理解する。</p>	<p>*辻 理子 *竹森 真実</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	歯科治療時の全身的偶発症	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 歯科治療中の全身的偶発症の成因、評価及び治療方法について述べるができる。 各種ショックの分類、成因と病態及び使用薬剤について述べるができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P6. P221～P236を熟読すること。 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 c 全身的併発症、合併症</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-6) 救急処置 ①歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。</p>	<p>*辻 理子 *竹森 真実</p>
2026/12/09 (水) 4時限 14:50～16:20	歯科領域の医療事故について	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科治療を安全に行うために、医療事故・過誤について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 麻酔・歯科麻酔関係の医療事故からその対応について述べるができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P8～P10を熟読すること。 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 c 全身的併発症、合併症</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-6 医療の質と安全管理 A-6-1) 安全性の確保 ①医療上の事故等の発生要因（ヒューマンエラー、システムエラー等）を説明できる。 ②医療上の事故等に対する防止策を説明できる。 ⑦歯科医療における事故の具体例を列挙できる。</p>	<p>*鈴木 正敏 *竹森 真実 *辻 理子</p>
2026/12/16 (水) 3時限 13:10～14:40	口腔外科手術と全身麻酔 歯科患者の日帰り麻酔	<p>【授業の一般目標】</p> <p>安全に患者管理を行うために、口腔外科手術の全身麻酔と歯科患者の日帰り麻酔を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 歯科・口腔外科手術のための全身麻酔の特徴について説明できる。 歯科・口腔外科手術の日帰り麻酔の特徴と留意点について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P199～P204を熟読すること。 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>202教室、第3実習室</p>	<p>*吉崎 里香 *下坂 典立 *卯田 昭夫</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/16 (水) 3時限 13:10～14:40	口腔外科手術と全身麻酔 歯科患者の日帰り麻酔	<p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (4) 全身麻酔法 ①全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。 ②全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。 ③全身麻酔の適応と禁忌、合併症及び周術期の管理を説明できる。</p>	* 吉崎 里香 * 下坂 典立 * 卯田 昭夫
2026/12/16 (水) 4時限 14:50～16:20	全身疾患を有する患者の麻酔・全身管理	<p>【授業の一般目標】</p> <p>安全に患者管理を行うために、全身疾患を有する患者の麻酔管理法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身疾患を有する患者への麻酔管理上の留意点について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目: 教科書「歯科麻酔・生体管理学」P17～P68を熟読すること。 ・事前学修時間: 50分 ・事後学修項目: 授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間: 20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 b 全身状態の評価</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (4) 全身麻酔法 ①全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。 ②全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。 ③全身麻酔の適応と禁忌、合併症及び周術期の管理を説明できる。</p>	* 竹森 真実 * 辻 理子
2026/12/23 (水) 3時限 13:10～14:40	疼痛治療・管理法 ・痛みの生理学 ・痛みの病態と治療	<p>【授業の一般目標】</p> <p>疼痛治療を行うために、顎顔面の痛みを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 神経疾患の特徴と痛みのメカニズムについて説明できる。 3. 三叉神経痛、顔面神経障害の病態と治療方法について説明できる。 4. 非定型顔面痛の発生機序と治療方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目: 教科書「歯科麻酔・生体管理学」P259～P280を熟読すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間: 20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 神経疾患 ①口腔顔面痛を説明できる。 ②三叉神経痛の原因、症状及び治療法を説明できる。 ③顔面神経麻痺の原因、症状及び治療法を説明できる。</p>	* 下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/23 (水) 3時限 13:10～14:40	疼痛治療・管理方法 ・痛みの生理学 ・痛みの病態と治療	④三叉神経麻痺（感覚麻痺、運動麻痺）の原因、症状及び治療法を説明できる。	*下坂 典立
2026/12/23 (水) 4時限 14:50～16:20	疼痛療法・管理方法 ・東洋医学的療法	<p>【授業の一般目標】 疼痛治療を行うために、東洋医学的療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 東洋医学的療法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「歯科麻酔・生体管理学」P259～280を熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：授業ノート、配付資料の整備、確認。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ウ 疾患に応じた薬物療法 h 和漢薬（漢方薬）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 神経疾患 ①口腔顔面痛を説明できる。 ②三叉神経痛の原因、症状及び治療法を説明できる。 ③顔面神経麻痺の原因、症状及び治療法を説明できる。 ④三叉神経麻痺（感覚麻痺、運動麻痺）の原因、症状及び治療法を説明できる。</p>	*下坂 典立
2027/01/13 (水) 3時限 13:10～14:40	平常試験2及び解説講義	<p>【授業の一般目標】 ・事前学修項目：これまでの授業内容を復習する。 ・事前学修時間：3時間 ・事後学修事項：試験の解答を作成する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. これまでの授業内容について述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 これまでの授業内容を復習する。（3時間）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 d 術前・術中・術後管理</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*卯田 昭夫 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *竹森 真実 *辻 理子 *吉崎 里香 *佐々木 貴大 *古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり
2027/01/13 (水) 4時限 14:50～16:20	平常試験3及び解説講義	<p>【授業の一般目標】 これまでの授業内容を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. これまでの授業内容について述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでの授業内容を復習する。 ・事前学修時間：3時間 ・事後学修事項：試験の解答を作成する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	*卯田 昭夫 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *竹森 真実 *辻 理子 *吉崎 里香 *佐々木 貴大 *古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2027/01/13 (水) 4時限 14:50～16:20	平常試験3及び解説講義	202教室、第3実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔 【コアカリキュラム】	* 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 竹森 真実 * 辻 理子 * 吉崎 里香 * 佐々木 貴大 * 古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり